DWS

ドイチェ・グローバルＲＥＩＴ投信（通貨選択型）

円コース（年2回決算型）
米ドルコース（年2回決算型）
豪ドルコース（年2回決算型）
ブラジルレアルコース（年2回決算型）

追加型投信／内外／不動産投信

交付運用報告書

第30期（決算日：2024年12月16日）
作成対象期間（2024年６月18日～2024年12月16日）

第30期末（2024年12月16日）				
	円コース（年2回決算型）	米ドルコース（年2回決算型）	豪ドルコース（年2回決算型）	ブラジルレアルコース（年2回決算型）
基 準 価 額	21,277円	43,790円	31,908円	28,006円
純資産総額	332百万円	1,967百万円	179百万円	303百万円
第30期（2024年６月18日～2024年12月16日）				
騰　落　率	7.1%	6.8%	2.2%	△1.6%
分配金合計	0円	0円	0円	0円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ドイチェ・グローバルＲＥＩＴ投信（通貨選択型）（年2回決算型）」は、2024年12月16日に第30期の決算を行いました。各ファンドは、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券等を主要投資対象とし信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記＜お問い合わせ先＞ホームページの「トップページ」→「ファンド情報」→「ファンド関連情報」→「運用報告書一覧」のページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧及びダウンロードすることができます。
※将来、ホームページの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。
○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
東京都港区麻布台 1-3-1　麻布台ヒルズ森JPタワー

＜お問い合わせ先＞
電話番号：03-6730-1308
受付時間：営業日の午前９時～午後５時
https://funds.dws.com/ja-jp/

＊お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

【円コース（年２回決算型）】

■基準価額等の推移について

（2024年６月18日～2024年12月16日）

第30期首：19,861円
第30期末：21,277円（既払分配金（税込み）：0円）
騰落率：7.1%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が０円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券等を主要投資対象とし信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。利下げ期待の高まりが追い風となった米国ＲＥＩＴを中心に世界のＲＥＩＴ証券価格が上昇したこと等が基準価額を押し上げました。一方で、為替ヘッジに伴うコストは基準価額の上昇を抑制する要因となりました。

■１万口当たりの費用明細

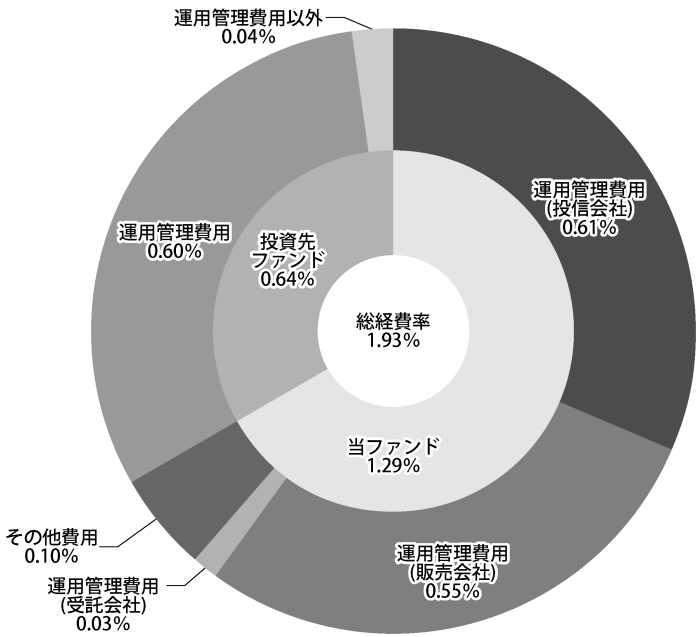
項目	当期 2024年6月18日～2024年12月16日 金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	127円	0.592%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は21,426円です。
（投信会社）	（ 65）	（0.302）	委託した資金の運用等の対価
（販売会社）	（ 59）	（0.274）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 4）	（0.016）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	11	0.050	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用・印刷費用等）	（ 11）	（0.050）	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合計	138	0.642	

（注）期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
（注）監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.93%です。



（単位：%）

総経費率(①＋②＋③)	**1.93**
①当ファンドの費用の比率	1.29
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.60
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04

（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）投資先ファンドには、表記した運用管理費用以外の費用がある場合があり、上記に含まれないことがあります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近５年間の基準価額等の推移について　（2019年12月16日～2024年12月16日）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が０円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

		2019年12月16日	2020年12月15日	2021年12月15日	2022年12月15日	2023年12月15日	2024年12月16日
基準価額	（円）	21,936	19,796	26,218	20,610	20,375	21,277
期間分配金合計（税込み）	（円）	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	（%）	－	△9.8	32.4	△21.4	△1.1	4.4
純資産総額	（百万円）	489	694	744	586	426	332

●当ファンドは、ＤＷＳ　ＲＲＥＥＦ　グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（円）及びドイチェ・円・マネー・マーケット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

【米ドルコース（年２回決算型）】
■基準価額等の推移について

（2024年６月18日～2024年12月16日）

第30期首：40,999円
第30期末：43,790円（既払分配金（税込み）：0円）
騰落率：6.8%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が０円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券等を主要投資対象とし信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。利下げ期待の高まりが追い風となった米国ＲＥＩＴを中心に世界のＲＥＩＴ証券価格が上昇したこと等が基準価額を押し上げました。一方で、為替相場で円高米ドル安が進んだことは基準価額の上昇を抑制する要因となりました。

■１万口当たりの費用明細

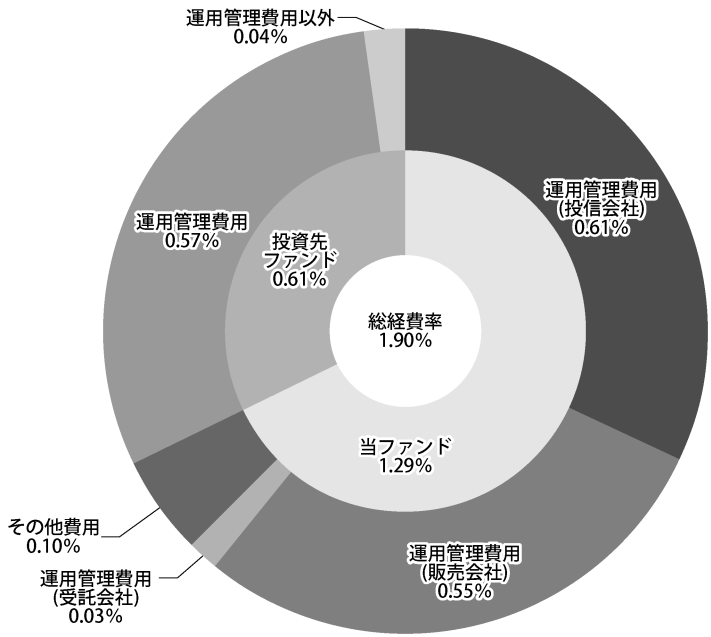
項目	当期 2024年6月18日～2024年12月16日 金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	256円	0.592%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は43,240円です。
（投信会社）	（130）	（0.302）	委託した資金の運用等の対価
（販売会社）	（119）	（0.274）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 7）	（0.016）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	22	0.051	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用・印刷費用等）	（ 22）	（0.051）	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合計	278	0.643	

（注）期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
（注）監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90％です。



（単位：％）

総経費率(①＋②＋③)	**1.90**
①当ファンドの費用の比率	1.29
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04

（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）投資先ファンドには、表記した運用管理費用以外の費用がある場合があり、上記に含まれないことがあります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近５年間の基準価額等の推移について　（2019年12月16日～2024年12月16日）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が０円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

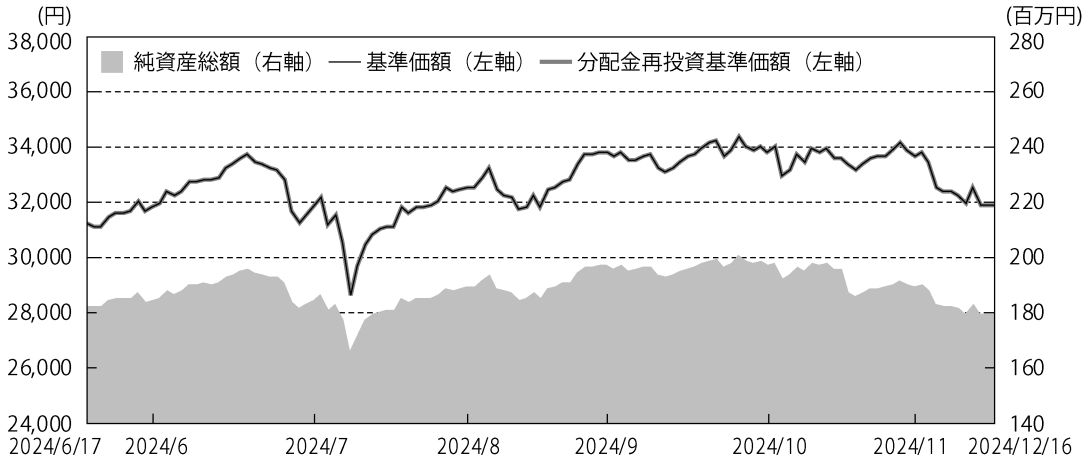
		2019年12月16日	2020年12月15日	2021年12月15日	2022年12月15日	2023年12月15日	2024年12月16日
基準価額	（円）	27,279	24,182	34,992	33,680	37,639	43,790
期間分配金合計（税込み）	（円）	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	（%）	－	△11.4	44.7	△3.7	11.8	16.3
純資産総額	（百万円）	964	516	709	1,033	1,110	1,967

●当ファンドは、ＤＷＳ　ＲＲＥＥＦ　グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（米ドル）及びドイチェ・円・マネー・マーケット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

【豪ドルコース（年２回決算型）】
■基準価額等の推移について

（2024年６月18日～2024年12月16日）



第30期首：31,235円
第30期末：31,908円（既払分配金（税込み）：0円）
騰落率：2.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が０円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券等を主要投資対象とし信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。利下げ期待の高まりが追い風となった米国ＲＥＩＴを中心に世界のＲＥＩＴ証券価格が上昇したこと等が基準価額を押し上げました。一方で、為替相場で円高豪ドル安が進んだことは基準価額の上昇を抑制する要因となりました。

■１万口当たりの費用明細

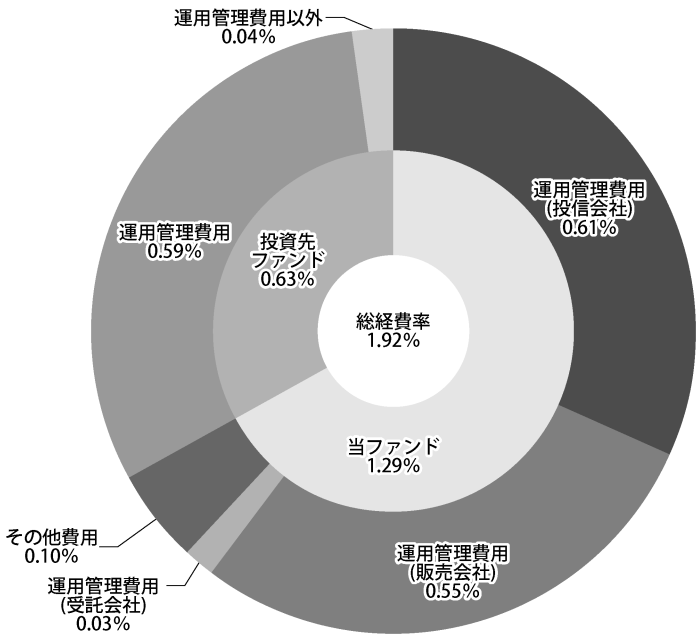
項目	当期 2024年6月18日～2024年12月16日 金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	195円	0.592%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は32,909円です。
（投信会社）	（ 99）	（0.302）	委託した資金の運用等の対価
（販売会社）	（ 90）	（0.274）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 5）	（0.016）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	16	0.050	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用・印刷費用等）	（ 16）	（0.050）	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合計	211	0.642	

（注）期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
（注）監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



（単位：%）

総経費率(①＋②＋③)	**1.92**
①当ファンドの費用の比率	1.29
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.59
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04

（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）投資先ファンドには、表記した運用管理費用以外の費用がある場合があり、上記に含まれないことがあります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近５年間の基準価額等の推移について　（2019年12月16日～2024年12月16日）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が０円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

		2019年12月16日	2020年12月15日	2021年12月15日	2022年12月15日	2023年12月15日	2024年12月16日
基準価額	（円）	23,983	22,384	30,391	27,487	28,842	31,908
期間分配金合計（税込み）	（円）	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	（%）	－	△6.7	35.8	△9.6	4.9	10.6
純資産総額	（百万円）	158	133	178	159	168	179

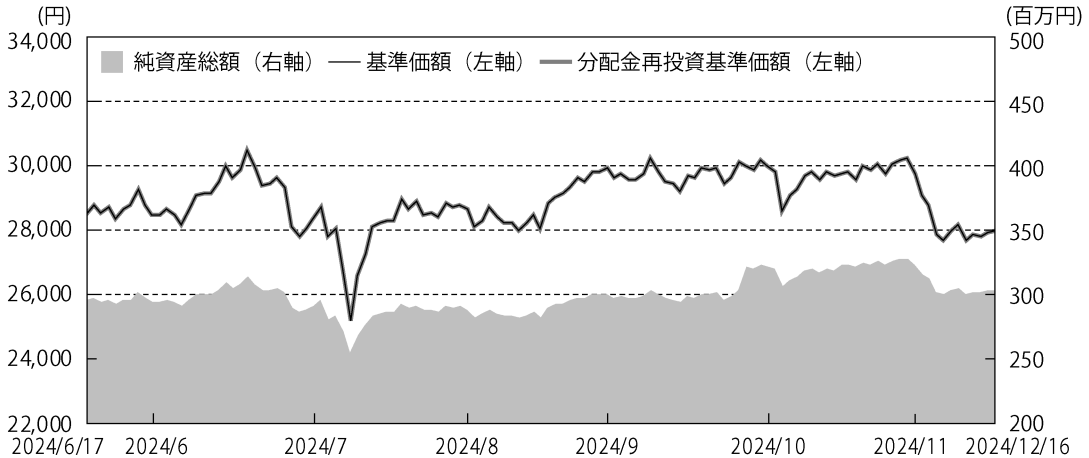
●当ファンドは、ＤＷＳ　ＲＲＥＥＦ　グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（豪ドル）及びドイチェ・円・マネー・マーケット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

【ブラジルレアルコース（年２回決算型）】

■基準価額等の推移について

（2024年６月18日～2024年12月16日）



第30期首：28,472円
第30期末：28,006円（既払分配金（税込み）：0円）
騰落率：△1.6%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が０円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券等を主要投資対象とし信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。利下げ期待の高まりが追い風となった米国ＲＥＩＴを中心に世界のＲＥＩＴ証券価格が上昇したこと等はプラスに寄与しました。一方で、為替相場で大幅な円高ブラジルレアル安が進んだことが基準価額を押し下げる要因となりました。

■１万口当たりの費用明細

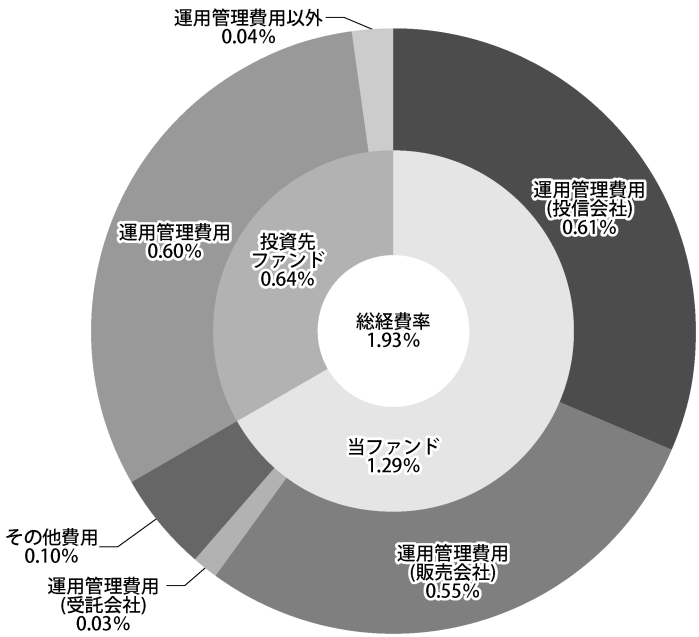
項目	当期 2024年6月18日～2024年12月16日 金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	173円	0.592%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は29,186円です。
（投信会社）	（ 88）	（0.302）	委託した資金の運用等の対価
（販売会社）	（ 80）	（0.274）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 5）	（0.016）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	14	0.049	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用・印刷費用等）	（ 14）	（0.049）	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合計	187	0.641	

（注）期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
（注）監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.93％です。



（単位：％）

総経費率(①＋②＋③)	**1.93**
①当ファンドの費用の比率	1.29
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.60
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04

（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）投資先ファンドには、表記した運用管理費用以外の費用がある場合があり、上記に含まれないことがあります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近５年間の基準価額等の推移について　（2019年12月16日～2024年12月16日）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が０円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

		2019年12月16日	2020年12月15日	2021年12月15日	2022年12月15日	2023年12月15日	2024年12月16日
基準価額	（円）	21,462	15,188	20,290	22,441	28,118	28,006
期間分配金合計（税込み）	（円）	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	（%）	－	△29.2	33.6	10.6	25.3	△0.4
純資産総額	（百万円）	524	303	318	375	323	303

●当ファンドは、ＤＷＳ　ＲＲＥＥＦ　グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（ブラジルレアル）及びドイチェ・円・マネー・マーケット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

■投資環境について　（2024年６月18日～2024年12月16日）

（当期の世界ＲＥＩＴ市場）

世界の不動産投信（ＲＥＩＴ）市場でＲＥＩＴ証券価格は上昇しました。米金融当局による利下げ期待が高まり、米長期金利が大幅に低下した局面での上昇が目立ちました。地域別では、米国市場が市場全体を上回った一方で、英国や日本市場は冴えない展開となりました。セクター別では、ヘルスケアや小売セクターのパフォーマンスが相対的に良好でした。

（当期の為替市場）

為替市場では、日銀による利上げ期待の高まりやその後の追加利上げ等を受けて円高が進行しました。期末にかけては円安傾向となりましたが、期初の水準には届きませんでした。通貨別では、米大統領選でトランプ氏が再選した場合の経済への悪影響や国内の財政悪化等が懸念されたブラジルレアルの下落が目立ちました。

■当該投資信託のポートフォリオについて　（2024年６月18日～2024年12月16日）

【円コース】／【米ドルコース】／【豪ドルコース】／【ブラジルレアルコース】

各ファンドでは、当初の運用方針通り、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券等を主要投資対象とし信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。

（ＤＷＳ　ＲＲＥＥＦ　グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド）

各銘柄固有の要因に加え、景気や金利動向による業績への影響なども考慮して銘柄の入れ替えを行いました。全体としては、バリュエーションや成長機会に着目しながら、質が高い資産やビジネスモデル、経営陣を有し、需給環境が良好な領域で事業を展開する銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。

（ドイチェ・円・マネー・マーケット・マザーファンド）

当初の運用方針通り、主に円建の公社債及び短期有価証券等への投資を行い、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行いました。具体的には、短期金融資産を中心に運用を行いました。

■ベンチマークとの差異について　（2024年６月18日～2024年12月16日）

各ファンドは運用の目標となるベンチマークや参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■分配金について

【円コース（年２回決算型）】

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

（１万口当たり・税引前）

	当　　期 2024年６月18日～2024年12月16日
当期分配金	－円
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	19,256

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

【米ドルコース（年２回決算型）】

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

（１万口当たり・税引前）

	当　　期 2024年６月18日～2024年12月16日
当期分配金	－円
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	33,789

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

【豪ドルコース（年２回決算型）】

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

（１万口当たり・税引前）

	当　　期 2024年６月18日～2024年12月16日
当期分配金	－円
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	26,354

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

【ブラジルレアルコース（年２回決算型）】

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

（１万口当たり・税引前）

	当　　期 2024年６月18日～2024年12月16日
当期分配金	－円
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	37,451

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

今後の運用方針

【円コース】／【米ドルコース】／【豪ドルコース】／【ブラジルレアルコース】

各ファンドでは、引き続き当初の運用方針通り、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券等を主要投資対象とし信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。

（ＤＷＳ　ＲＲＥＥＦ　グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド）

中東や東欧における紛争の継続は、様々な資産価格に影響を及ぼす可能性があります。米国の大統領選挙の結果を受け、米国内外の政策の不透明感が増しています。トランプ氏と共和党の決定的な勝利により、政策を実行しやすくなると考えられます。米国経済と株式市場については、概して楽観的な見方となっていますが、同時に高い不確実性を伴うと思われます。

米国では、実物不動産市場で、借入コストの低下や取引高の増加等から、価格が安定してきています。2024年初来でＲＥＩＴの新規上場が数件あった他、開発や物件取得のための資金調達において株式市場の活用が増加しており、2025年にはさらに多くの新規上場が見込まれます。セクター別では、足元でファンダメンタルズが改善しており、トランプ政権下の規制緩和が追い風になることが期待されるヘルスケアセクターに対し強気な見方をしています。郊外型モールセクターについては、米国の消費支出が堅調なことや、テナントの倒産がほとんど発生していないこと等から強気な見方をしています。オフィスセクターについては、バリュエーションが依然として割安であり、オフィスへの回帰が進行中であること等から強気な見方をしています。データセンターセクターについては、長期的な見通しは良好な一方で価格は既に上昇しており、やや強気な見方です。住宅セクターについては、戸建て住宅の供給増加や賃料上昇率の鈍化等を受けて弱気な見方をしています。また、ライフサイエンス施設については、次期政権下でアメリカ国立衛生研究所の予算削減が見込まれることや、製薬業界に逆風が吹く可能性があること等から弱気な見方をしています。

欧州では、資金調達環境は改善傾向ですが、過度に負債比率の高い企業を避ける姿勢を継続しています。物流セクターでは、ビジネス上の追い風を受け、妥当なバリュエーションで魅力的なリターンが期待できる銘柄を選好しています。リテールセクターでは、底堅い消費により恩恵を受けられる一部の銘柄に選択的に投資する方針です。オフィスセクターでは、データセンターやホテル等、別のセクターのエクスポージャーも持つ銘柄を中心に選択的に投資します。住宅セクターでは、ドイツの長期的な需給動向に対して強気な見方をしており、資産価格は底値付近だと考えています。英国では、学生寮やライフサイエンス施設、都市部の物流施設等、需給動向が良好かつ景気感応度の低いセクターの他、バリュエーションが魅力的でクオリティの高い物件を保有する銘柄を選好しています。

アジア市場の中で、香港については、投資家心理が改善している一方で、不動産ファンダメンタルズは依然として厳しい状況です。オフィスセクターについては、特に都心部以外の地域に対し引き続き弱気な見方をしており、足元の供給増加等から回復に時間がかかる見込みです。リテールセクターでは、賃料が改善傾向にあります。中国経済が改善せず、不動産市場の見通しが不透明ななか、中国が引き続き景気刺激策を加速させるかが焦点となります。中国経済が改善し、香港の金融市場での取引が再び活発化すれば、オフィス空室率の改善につながると考えられます。香港市場は、全般的に厳しい環境ではありますが、バリュエーションは割安な水準となっています。シンガポールでは、商業用不動産市場の

見通しは引き続き良好ですが、市場の回復ペースは鈍化してきています。オフィス市場については、新築オフィスビルの竣工が遅れているため供給が少なくなっているものの、経済の減速により市場の回復は緩やかになっています。Ｅ－コマースの浸透ペースの鈍化や供給の少なさ等を背景に、リテールセクターをオフィスセクターよりも強気に見ています。物流セクターは、長期的には成長するＥ－コマース市場へのエクスポージャーを取ることができる点が魅力的です。日本では、供給が頭打ちになると共にオフィスの空室率がピークアウトしており、建設費の高騰が供給抑制につながると考えられることから、緩やかな回復局面の継続が予想されます。リテールセクターやホテルセクターは海外からの渡航者の増加に加え、円安等を背景として日本人が国内で旅行する傾向により恩恵を受けています。物流セクターは引き続き、長期的な視点では追い風を受けていますが、短期的には供給の増加により空室率が高まっています。

全体としては、バリュエーションや成長機会に目を向けた銘柄選択の重要性が高まっていくと考えられ、質が高い資産やビジネスモデル、経営陣を有し、需給環境が良好な領域で事業を展開する銘柄を中心としたポートフォリオを構築する方針です。

（通貨見通し）

米ドル円相場については、米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）が今後も金融緩和的なスタンスを維持する一方で、日銀は利上げする可能性が高く、日米の金利差が縮小すると見込まれることから、これまでの米ドル高円安が修正される動きが予想され、徐々に円高圧力が強まると思われます。豪ドルについては、豪州準備銀行の金融政策スタンスに加え、経済的な結びつきの強い中国の景気や資源価格の動向等が変動要因となる見通しです。ブラジルレアルに関しては、中央銀行による金融引き締め姿勢が維持されるとの期待や、相対的な金利水準の高さはサポート材料と考えていますが、財政悪化懸念が下押し材料となる可能性があります。中国景気や資源価格の動向等も変動要因となる見通しです。

（ドイチェ・円・マネー・マーケット・マザーファンド）

当ファンドでは、引き続き当初の運用方針通り、主に円建の公社債及び短期有価証券等への投資を通じて、安定した収益と流動性の確保を目的とした運用を行います。

信用力及び流動性の高いポートフォリオ運用を行うため、短期金融市場や国債市場の動向を踏まえ組み入れを行う方針です。

お知らせ

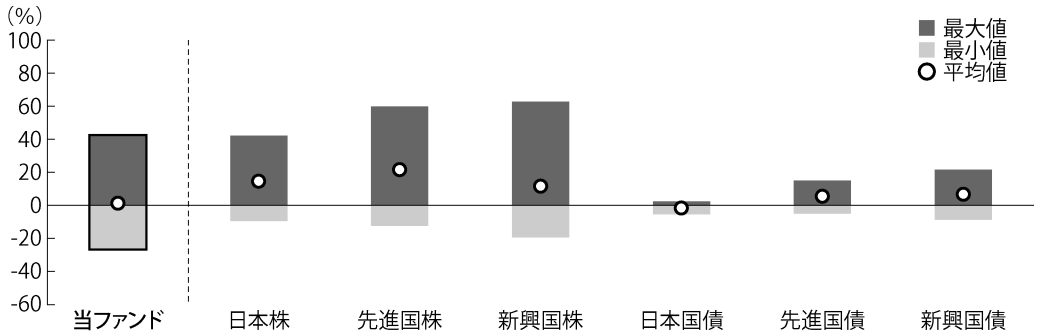
該当事項はございません。

当ファンドの概要

<table>
<tr><td>商品分類</td><td colspan="2">追加型投信／内外／不動産投信</td></tr>
<tr><td>信託期間</td><td colspan="2">2009年12月18日から2029年12月10日まで</td></tr>
<tr><td>運用方針</td><td colspan="2">信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">主要投資対象</td><td>当ファンド</td><td>原則として、ルクセンブルク籍外国投資信託証券ＤＷＳ ＲＲＥＥＦ グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド及びドイチェ・円・マネー・マーケット・マザーファンド受益証券に投資を行うことを基本とします。</td></tr>
<tr><td>ＤＷＳ ＲＲＥＥＦ グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド</td><td>日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券等を主要投資対象とします。</td></tr>
<tr><td>ドイチェ・円・マネー・マーケット・マザーファンド</td><td>主に円建の公社債及び短期有価証券等を主要投資対象とします。</td></tr>
<tr><td>運用方法</td><td colspan="2">主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券等を主要投資対象とし信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。
＜豪ドルコース／ブラジルレアルコース＞では、実質的な保有外貨建資産に対して原則として当該通貨売り、以下の通貨買いの為替取引を行うルクセンブルク籍外国投資信託証券 ＤＷＳ ＲＲＥＥＦ グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンドに投資を行います。
<table><tr><td>豪ドルコース</td><td>ブラジルレアルコース</td></tr><tr><td>豪ドル</td><td>ブラジルレアル</td></tr></table>また、＜円コース＞では、実質的な保有外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行う投資信託証券に投資を行います。＜米ドルコース＞では、原則として実質的に米ドル建資産を保有する投資信託証券に投資を行います。
また、各ファンドはドイチェ・円・マネー・マーケット・マザーファンドにも投資を行います。</td></tr>
<tr><td>分配方針</td><td colspan="2">毎決算時（原則として、毎年6月15日及び12月15日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。
①分配対象額の範囲は、原則として、経費等控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準及び市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。
③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</td></tr>
</table>

代表的な資産クラスとの騰落率の比較（2019年12月末～2024年11月末）

【円コース（年２回決算型）】

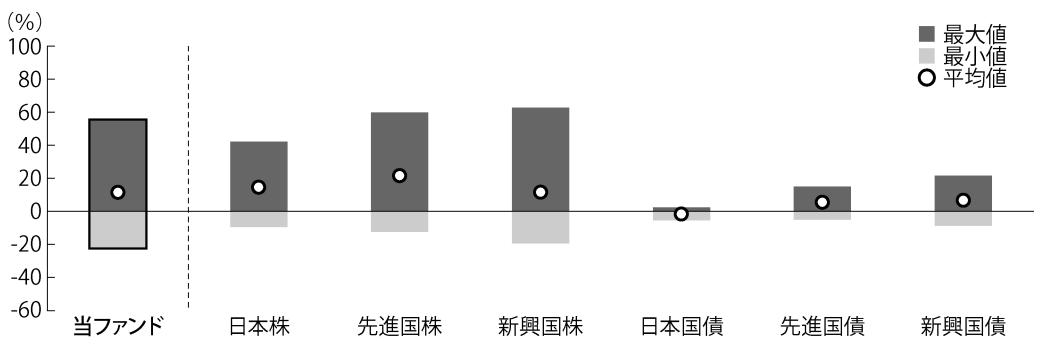


（当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率（%））

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	1.3	14.6	21.6	11.6	△1.6	5.5	6.7
最大値	42.4	42.1	59.8	62.7	2.3	15.0	21.5
最小値	△26.8	△9.5	△12.4	△19.4	△5.5	△5.1	△8.8

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

【米ドルコース（年２回決算型）】

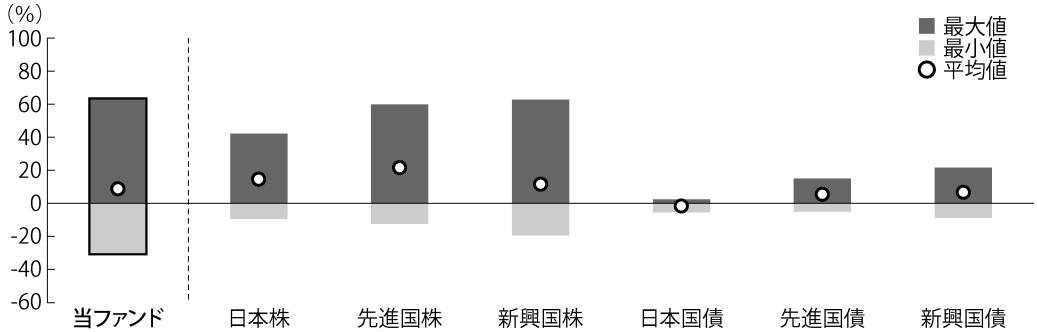


（当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率（%））

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	11.5	14.6	21.6	11.6	△1.6	5.5	6.7
最大値	55.5	42.1	59.8	62.7	2.3	15.0	21.5
最小値	△22.4	△9.5	△12.4	△19.4	△5.5	△5.1	△8.8

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

【豪ドルコース（年２回決算型）】

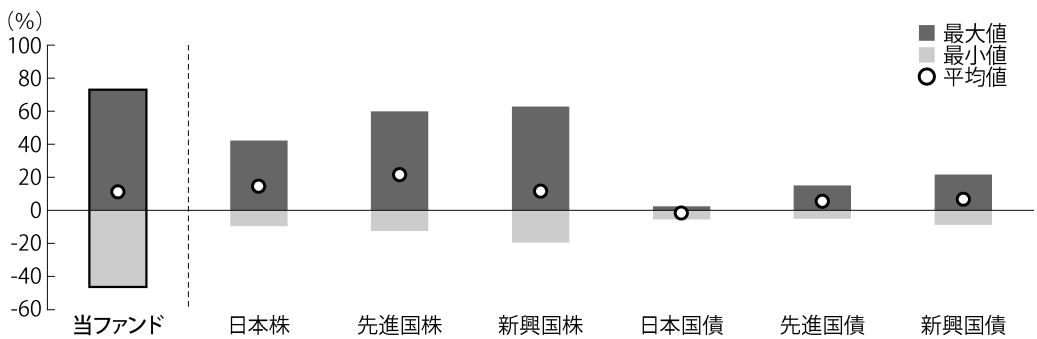


（当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率（%））

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	8.8	14.6	21.6	11.6	△1.6	5.5	6.7
最大値	63.4	42.1	59.8	62.7	2.3	15.0	21.5
最小値	△30.9	△9.5	△12.4	△19.4	△5.5	△5.1	△8.8

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

【ブラジルレアルコース（年２回決算型）】



（当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率（%））

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	11.2	14.6	21.6	11.6	△1.6	5.5	6.7
最大値	73.0	42.1	59.8	62.7	2.3	15.0	21.5
最小値	△46.4	△9.5	△12.4	△19.4	△5.5	△5.1	△8.8

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

＊2019年12月～2024年11月の５年間における年間騰落率の平均・最大・最小を、各ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

＊各資産クラスの指数

日 本 株：ＴＯＰＩＸ（配当込み）
先進国株：ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株：ＭＳＣＩエマージング・マーケッツ・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債
先進国債：ＪＰモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－グローバル（除く日本）（円ベース）
新興国債：ＪＰモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

（注）先進国株、新興国株、先進国債及び新興国債の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの指数について

・ＴＯＰＩＸ（東証株価指数）の指数値及びＴＯＰＩＸにかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用等ＴＯＰＩＸに関するすべての権利・ノウハウ及びＴＯＰＩＸにかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有します。ＪＰＸは、ＴＯＰＩＸの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。

・ＭＳＣＩコクサイ・インデックス及びＭＳＣＩエマージング・マーケッツ・インデックスは、ＭＳＣＩインク（以下「ＭＳＣＩ」といいます。）が算出する指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩに帰属します。また、ＭＳＣＩは同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

・ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社（以下「ＮＦＲＣ」といいます。）が公表している指数で、その知的財産権その他一切の権利はＮＦＲＣに帰属します。なお、ＮＦＲＣはＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩを用いて行われるドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切の責任を負いません。

・ＪＰモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－グローバル（除く日本）及びＪＰモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ダイバーシファイドは、JPMorgan Chase & Co.の子会社であるJ.P.Morgan Securities LLC（以下「J.P.Morgan」といいます。）が算出する債券インデックスであり、その著作権及び知的所有権は同社に帰属します。J.P.Morganは、インデックス及びそのサブインデックスが参照される可能性のある、または販売奨励の目的でインデックス及びそのサブインデックスが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、または奨励するものではありません。J.P.Morganは、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否またはインデックス及びそのサブインデックスが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または黙示に、表明または保証するものではありません。

ファンドデータ

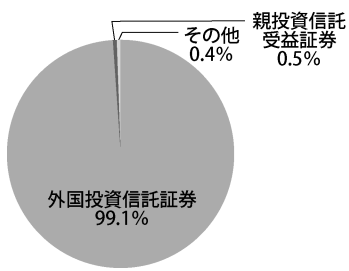
【円コース（年２回決算型）】
■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

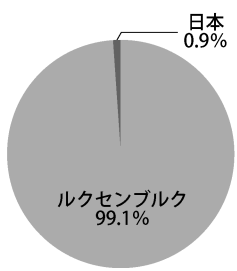
項　　目	当　期　末 2024年12月16日
ＤＷＳ ＲＲＥＥＦ グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（円）	99.1%
ドイチェ・円・マネー・マーケット・マザーファンド	0.5%

（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

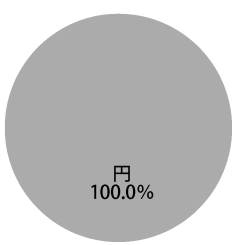
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。
（注）端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

■純資産等

項　　目	当　期　末 2024年12月16日
純資産総額	332,533,527円
受益権総口数	156,290,146口
１万口当たり基準価額	21,277円

当期中における追加設定元本額は4,243,393円、同解約元本額は26,050,878円です。

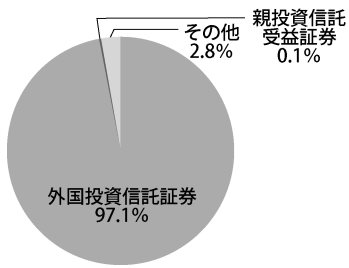
【米ドルコース（年２回決算型）】
■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

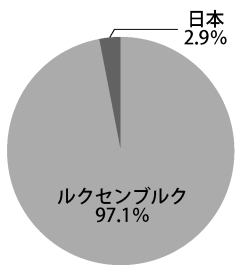
項目	当期末
	2024年12月16日
ＤＷＳ ＲＲＥＥＦ グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（米ドル）	97.1%
ドイチェ・円・マネー・マーケット・マザーファンド	0.1%

（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

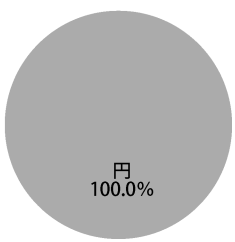
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。
（注）端数処理の関係で合計が100％にならない場合があります。

■純資産等

項目	当期末
	2024年12月16日
純資産総額	1,967,289,234円
受益権総口数	449,259,385口
１万口当たり基準価額	43,790円

当期中における追加設定元本額は162,514,424円、同解約元本額は95,938,784円です。

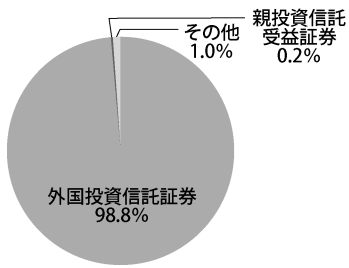
【豪ドルコース（年２回決算型）】
■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

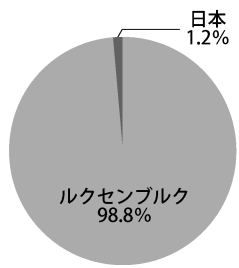
項　　目	当　期　末 2024年12月16日
ＤＷＳ　ＲＲＥＥＦ　グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（豪ドル）	98.8%
ドイチェ・円・マネー・マーケット・マザーファンド	0.2%

（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

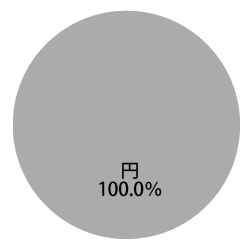
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。
（注）端数処理の関係で合計が100％にならない場合があります。

■純資産等

項　　目	当　期　末 2024年12月16日
純資産総額	179,763,833円
受益権総口数	56,338,184口
１万口当たり基準価額	31,908円

当期中における追加設定元本額は535,495円、同解約元本額は2,754,782円です。

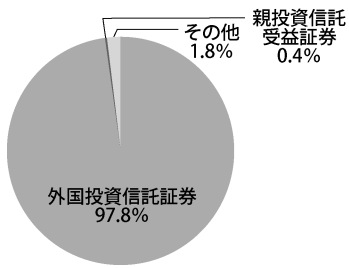
【ブラジルレアルコース（年２回決算型）】
■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

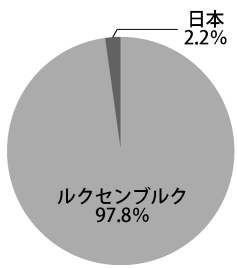
項目	当期末
	2024年12月16日
ＤＷＳ ＲＲＥＥＦ グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（ブラジルレアル）	97.8%
ドイチェ・円・マネー・マーケット・マザーファンド	0.4%

（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

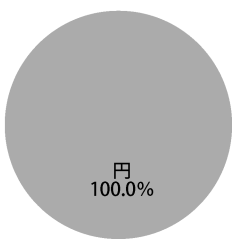
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。
（注）端数処理の関係で合計が100％にならない場合があります。

■純資産等

項目	当期末
	2024年12月16日
純資産総額	303,881,208円
受益権総口数	108,504,428口
１万口当たり基準価額	28,006円

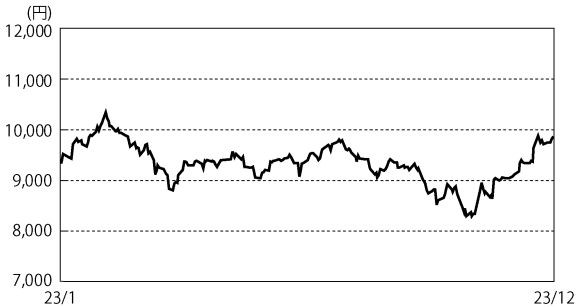
当期中における追加設定元本額は8,150,803円、同解約元本額は3,341,946円です。

■組入上位ファンドの概要

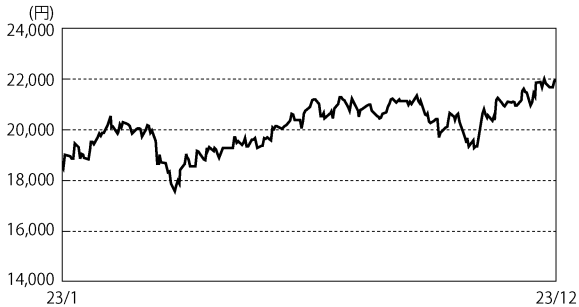
ＤＷＳ ＲＲＥＥＦ グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（2023年１月１日～2023年12月31日）

◆基準価額の推移

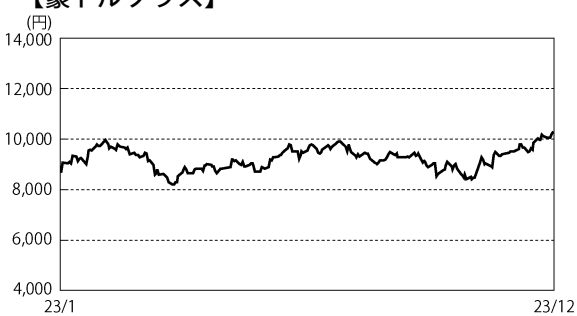
【円クラス】



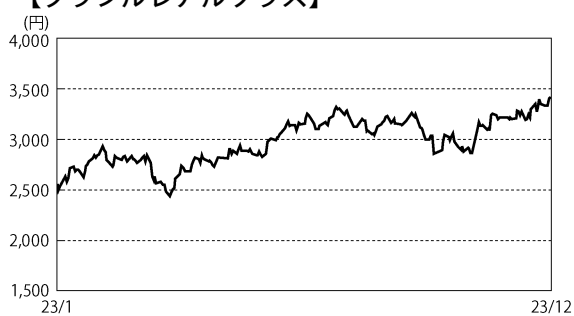
【米ドルクラス】



【豪ドルクラス】



【ブラジルレアルクラス】

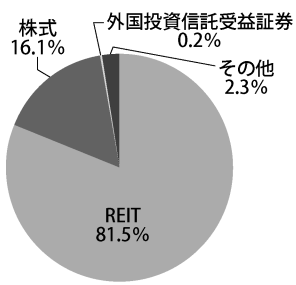


◆上位10銘柄

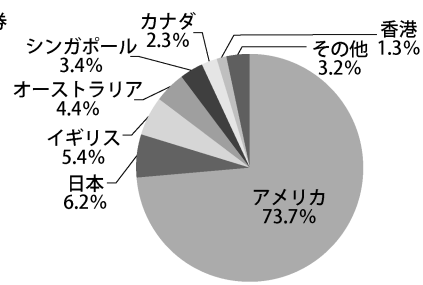
	銘柄名	国名	通貨名	比率
1	Prologis, Inc. REIT	アメリカ	米ドル	7.5%
2	Equinix, Inc. REIT	アメリカ	米ドル	5.7%
3	Welltower, Inc. REIT	アメリカ	米ドル	4.5%
4	AvalonBay Communities, Inc. REIT	アメリカ	米ドル	4.1%
5	Public Storage REIT	アメリカ	米ドル	4.1%
6	Simon Property Group, Inc. REIT	アメリカ	米ドル	4.0%
7	Digital Realty Trust, Inc. REIT	アメリカ	米ドル	3.3%
8	Sun Communities, Inc. REIT	アメリカ	米ドル	2.6%
9	EastGroup Properties, Inc. REIT	アメリカ	米ドル	2.5%
10	Essential Properties Realty Trust, Inc. REIT	アメリカ	米ドル	2.3%
組入銘柄数		80銘柄		

（注）比率は純資産総額に対する割合です。
（注）全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

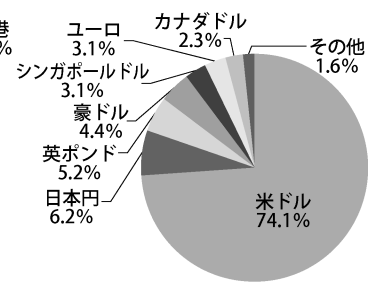
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注）端数処理の関係で合計が100％にならない場合があります。
（注）資産別配分の比率は、純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分、通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

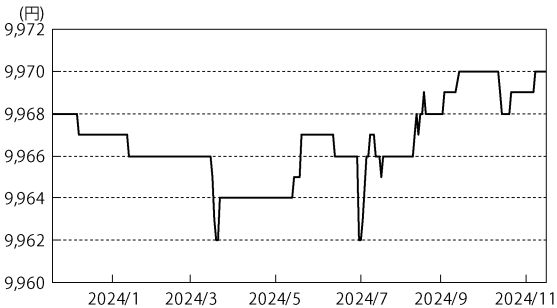
◆費用の明細

項目	
支払利息	△3,413.42米ドル
委託者報酬	△394,938.82
保管銀行費用	△26,869.21
監査費用、弁護士費用及び印刷費用	△15,597.45
申込税	△7,291.22
その他費用	△13,696.75
合計	△461,806.87

（注）上記につきましては、「１万口当たり」でのデータ取得が困難なため、年間総額の表示とさせていただいております。

ドイチェ・円・マネー・マーケット・マザーファンド（2023年12月16日～2024年12月16日）

◆基準価額の推移

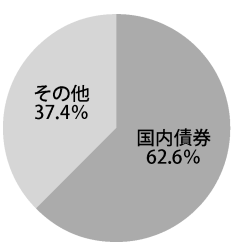


◆上位10銘柄

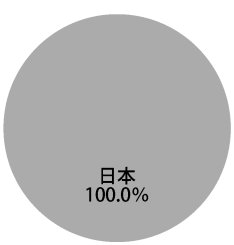
	銘柄名	国名	通貨名	比率
1	第１２２０回国庫短期証券	日本	円	62.6%
2	－	－	－	－
3	－	－	－	－
4	－	－	－	－
5	－	－	－	－
6	－	－	－	－
7	－	－	－	－
8	－	－	－	－
9	－	－	－	－
10	－	－	－	－
組入銘柄数		1銘柄		

（注）比率は純資産総額に対する割合です。
（注）全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

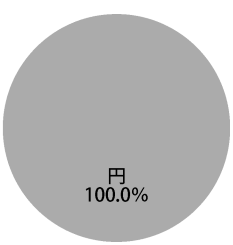
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。
（注）端数処理の関係で合計が100％にならない場合があります。

◆1万口当たりの費用明細

該当事項はございません。

■MEMO

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
東京都港区麻布台 1-3-1　麻布台ヒルズ森JPタワー

＜お問い合わせ先＞
電話番号：03-6730-1308
受付時間：営業日の午前９時～午後５時
https://funds.dws.com/ja-jp/

＊お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。